

広がる大きな力



井伊直弼と開国150年祭には、市民創造事業に提案いただいた、市民の皆さんなどで行っている事業が大きな力になっています。

地域に元気を、地域の皆さんに笑顔を広げるような多種多様なイベントを行っていただいています。

一例を挙げると、地域の歴史や伝統にふれる事業があったり、口笛を吹いてギネスの世界記録に挑戦したり、自作の自転車タク

市民創造事業とは

企画・事業展開を市民などで構成される団体の発案で行われる事業です。基本理念の「新たな直弼像の発信」を実現する内容で、「井伊直弼」や「開国」を切り口とした事業や地域の活性化につながる事業が対象です。実施するための経費に対して、実行委員会から1事業あたり上限25万円を支援しています。

(※募集はすでに終了しています)

シーに乗って彦根から横浜までの約450キロメートルを走破したりとさまざまです。3月のファイナルまで、多くの事業が開催されますので、皆さんといっしょに盛り上げていきましょう。

つながる市民活動

昨年の11月28日(土)に、市民創造事業の一環で、近江上布の魅力を再発見する事業が琵琶シテイ彦根で行われました。近江上布とは麻織物の最高級品のことです。主催したのは、近江上布の素晴らしさや伝統に触れてもらおうと結成された「近江上布つむぐ会」です。

「近江上布つむぐ会」のメンバーでもある3人の名工(※)が協力して作製した手提げかばんの新商品発表会、講演会や近江上布を使った和服や洋服のファッションショーなどが行われ、多くの来場者が訪れました。



▲キャラクターも参加して会場を盛り上げました

この事業には、地域を楽しく元気にしようとして結成された「稲枝青楽団」も協力しました。

きっかけは、稲枝青楽団が昨年の冬に市民創造事業として、講師を招き稲枝地域について話をしてもらった講座を開催したときに、地区内の伝統工芸士である大西寛さんにも講師を依頼したことでした。

この出会いから、麻製品を使用したかばんの製作を始めるなど活動が広がり、今回のイベントにも協力することになりました。

そこで、事業に参加した人に、世代を超えてできたつながりなどについて、お聞きしたことを下に紹介しています。

地域を元気にする人のつながりや市民活動が大きく広がっています。この盛り上がりは、ほかの都市からも注目されています。

※おうみの名工 優秀な技能者に滋賀県知事が表彰している。  
※現代の名工 卓越した技能者に厚生労働大臣が表彰している。

「おうみの名工」創作袋物の製造

因幡 稔さん(田附町)

今回の市民創造事業で、色々な人と協力して、良かったと思います。想像した以上にたくさんの方が来ていただきました。

今回のイベントを見て、ほかの事業でもいいので、「私もやってみようかな」と思う人が増えると大きな力になって盛り上がることでしよう。

「地元にはこんな仕事があるんだ」ということを知ってもらったことで、伝統を伝える仕事にも興味を持つ人が出てきたらいいですね。



▶かばんの製作工程について紹介する、因幡さん(右)

▲新作のかばんを花器に見立てて、花を生ける、河合さん(左)



「現代の名工」フラワーアレンジメント

河合 透さん(肥田町)

地域への愛着心や故郷を愛する気持ちがあり、稲枝地域の良さを再発見するまちづくりにも取り組んでいきます。

井伊直弼と開国150年祭は、地域のまちづくりがいい相乗効果があったと思います。日ごろ考えていることが形になり、輪が広がっていく。活動の輪が広がって、色々な人につながっていくと感じます。

今後は、反響をみながら、第2弾、第3弾と色々な人もコラボレーションしていきたいです。期待を超えるものを目指していきたいです。

稲枝青楽団 代表

馬場 昭さん(本庄町)

年代の違う人たちといっしょに何かを作り上げたことは良かったですね。大先輩の考え方や生き様を肌で感じることができました。

世代を超えたつながりができつつあると実感しています。これからも新しいつながりが生まれるようなことを、できる範囲でしていきたいですね。

自分が生まれたこの地の良さは、市外に出て改めて気づきました。地域の良さを絶やすことなく、なるべく「いいかたち」で次の世代に引き継ぎたいと考えています。

夏には、子どもから大人まで楽しく踊れる素敵な祭を計画しています。



◀麻織物について話す、大西さん(左)

「おうみの名工」

近江上布の製造

大西 寛さん(新海町)

今回の事業は、近江上布のことを、地元の人に知ってもらういいきっかけになったと思います。

稲枝青楽団や学生の人数などいっしょにできたこともあり、多いに盛り上がりました。

若い人との交流はこれからも続けていきたいですね。若い人の発想は、私たちにある発想の「壁」を突き破る力があります。

私たちには、色々な知識や経験がありますが、そのことが時に自由な発想を妨げる「壁」になることがあります。失敗してもいい。まず行動することが大事ですね。



▶ファッションショーのモデルとしても登場した、馬場さん(左)